

令和4年度 公社等経営評価シート  
(対象期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日)

概 要	名称	一般財団法人宮崎県内水面振興センター		所在地	宮崎市佐土原町下那珂字圀3992番地2			
	電話番号	0985-73-7620		ホームページ	<a href="http://www.mnsc.jp">http://www.mnsc.jp</a>			
	設立年月日	平成6年11月1日	代表者	理事長 奥 泰裕	県所管部・課	農政水産部 漁業管理課		
	総出資額	30,000 千円		県出資額	15,000 千円		県出資比率	50.0%
	設立目的	県内の内水面における漁業及び内水面の水産動植物に係る養殖業の振興を図るとともに、内水面の水産動植物の保護培養、環境保全等を行い、もって内水面の振興に資することを目的とする。						
	特記事項	県や県警等との密接な連携のもと、適正な採捕及び流通の指導・監視に取り組み、資源の適正な管理の推進と秩序維持の役割を担っている。						

内容		令和2年度	令和3年度	令和4年度
改革 工程	①公社等のあり方見直し	・経営の健全化及び公益事業の推進 ・今後のあり方の検討	自立化と状況変化に対応した新たな役割を果たしていくため、県と協議しながら検討・対応を進めた。	自立化と状況変化に対応した新たな役割を果たしていくため、県と協議しながら検討・対応を進めた。
	②公社等の経営見直し	経営・事業運営改善	「第5期経営改善計画」に沿った事業運営により経営の安定化を進めた。	「第5期経営改善計画」に沿った事業運営により経営の安定化を進めた。
		財務改善	・コスト削減の検討 ・採捕以外収入の確保	採捕収入は予算額に届かなかったが、経費削減にも努めたため、正味財産額は小幅な減少となった。
	③関係と見直し等	組織等適正化	・再任用等による人材の確保	組織の機能維持を図るため各業務に精通した職員による指導・教育により職員の資質の向上を図るとともに、再任用等による人材の確保に努めた。
④情報公開推進	人的支援見直し	・県職員の役職員就任等の見直し	役職員や組織のあり方について、県と協議しながら、検討・見直しを進めた。	役職員や組織のあり方について、県と協議しながら、引き続き検討・見直しを進めた。
	財政支出見直し	・借入金の圧縮	事業収入の減により、借入金の圧縮ができなかった。	事業収入の確保により借入金の圧縮を図ることができた。
④情報公開推進	・ホームページの定期更新	ホームページの充実や更なる情報発信事業を進めた。	ホームページの充実や更なる情報発信事業を進めた。	ホームページの充実や更なる情報発信事業を進めた。

人的支援	(人)	令和3年度				令和4年度			
		合計	県職員	県退職者	左記以外の者	合計	県職員	県退職者	左記以外の者
役員数		9	2	2	5	9	2	2	5
常勤		2	0	2	0	2	0	2	0
非常勤		7	2	0	5	7	2	0	5
職員数		10	2	0	8	10	2	0	8
財政支出等	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	(千円)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
	県委託料	47,141	50,528	55,444	県借入金残高	0	0	0	
	県補助金	14,940	15,200	15,300	県の損失補償契約等に基づく債務残高	0	0	0	
	県交付金・負担金・出資金	0	0	0	県職員人件費(県支給分)	12,214	12,617	12,341	
その他の県からの支援等		内水面振興センター経営基盤強化対策資金の借入金 30,000千円 (R3. 4. 1~R4. 3. 31)							

主な 県財 政支 出の 内容	事業名		事業内容	令和3年度 決算額(千円)	令和4年度 予算額(千円)	種別
	①	うなぎ資源持続的利用対策事業	うなぎ稚魚の流通の適正化に資する調査等業務 内水面漁業取締及び密漁防止業務	36,372	38,495	委託料
	②	うなぎ資源持続的利用対策指導事業	うなぎ資源の適正管理に係る全体指導及び関連情報の収集	15,300	19,481	補助金
	③	内水面振興センター経営基盤強化対策資金	内水面振興センターの事業の円滑な運営、経営安定強化	30,000	30,000	借入金
	④	カワウ生息状況調査業務	県内河川におけるカワウ生息状況等の調査業務	10,030	10,030	委託料
	⑤	シラスウナギトレーサビリティ手法検討事業	うなぎ稚魚の流通実態把握に資する調査等業務	4,565	0	委託料

実施 事業	① 内水面における漁業及び養殖業の振興に関する事業 ② 内水面における秩序維持対策に関する事業 ③ 内水面の増養殖用種苗(うなぎ稚魚)の採捕・供給等に関する事業 ④ 内水面の水産動植物の保護培養及び環境保全に関する事業
----------	--

活動 指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	目標値
	①	県内産種苗に占めるセンター割合	センター採捕量/県内産種苗量×100(%)	30.0	16.8	56.0%	30.0
②	県内各河川の監視・指導回数	(回)	200	263	131.5%	200	200
③							

指標の設定に関する 留意事項	
-------------------	--

財務 状況	正味財産増減計算書 (千円)			貸借対照表 (千円)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	経常収益	97,420	90,217	107,700	資産	79,672	61,516	73,447
	経常費用	96,393	94,135	95,647	流動資産	24,035	8,591	11,799
	当期経常増減額	1,027	-3,917	12,053	固定資産	55,637	52,925	61,647
	経常外収益	45	0	1,210	負債	53,553	39,314	37,982
	経常外費用	0	0	0	流動負債	51,131	36,664	36,587
	当期経常外増減額	45	0	1,210	固定負債	2,422	2,651	1,396
	当期一般正味財産増減額	1,072	-3,917	13,263	正味財産	26,119	22,202	35,464
	一般正味財産期首残高	-4,953	-3,881	-7,798	指定正味財産	30,000	30,000	30,000
	一般正味財産期末残高	-3,881	-7,798	5,464	(うち基本財産への充当額)	30,000	30,000	30,000
	当期指定正味財産増減額	0	0	0	(うち特定資産への充当額)	0	0	0
	指定正味財産期首残高	30,000	30,000	30,000	一般正味財産	-3,881	-7,798	5,464
	指定正味財産期末残高	30,000	30,000	30,000	(うち基本財産への充当額)	0	0	0
	正味財産期末残高	26,119	22,202	35,464	(うち特定資産への充当額)	17,000	17,000	28,500

※千円未満を四捨五入して表示しているため、合計の金額と一致しない場合があります。

財務 指標	指標名	算式(単位)	令和3年度			令和4年度	令和5年度
			目標値	実績値※	達成度(%)	目標値	目標値
	①	正味財産増減率	当年度正味財産/前年度正味財産×100(%)	100.0	159.7	159.7%	100.0
	※ 令和3年度 実績値の算式	35,464千円/22,202千円×100					
②	管理費比率	管理費/経常費用計×100(%)	19.2	16.5	114.1%	19.2	19.2
	※ 令和3年度 実績値の算式	15,755千円/95,647千円×100					
③							
	※ 令和3年度 実績値の算式						

指標の設定に関する 留意事項	安定した収支構造の構築のため、令和元年6月に策定した第5期経営改善計画に基づき、「正味財産増減率」及び「管理費比率」を指標として設定している。
-------------------	---

直近の県監査 の状況	令和3年度財政援助団体等監査(令和3年12月10日)において、指摘事項はなかった。
---------------	---

総合評価	公社等 自己評価	<p>活動状況について、うなぎ稚魚供給事業では、採捕量は26.4kgと令和2年度の35.4kgより減少し、県内産種苗の16.8%を供給したものの目標値を達成できなかった。</p> <p>うなぎ資源持続的利用対策事業では、うなぎ稚魚の流通適正化や密漁防止等を実施した。</p> <p>シラスウナギトレーサビリティ手法検討事業では、令和2年度のうなぎ稚魚の流通状況の概況を整理した。加えて、県内産シラスウナギのトレーサビリティ試験を主要河川で行い課題や改善点の検討を行った。</p> <p>カワウ生息状況調査業務では、飛来数や生息数等の調査を実施するとともに、ドローンを活用した被害軽減対策試験及び訓練を実施した。</p> <p>財務状況について、うなぎ稚魚採捕収入が令和2年度と比べ増加したこと等により経常収益が増加したため、県借入金を圧縮するとともに正味財産期末残高が増加した。</p>				県所管部課 二次評価	<p>平成29・30年度の記録的なうなぎ稚魚の不漁により、正味財産が大幅に減少したため、1年前倒して策定した第5期経営改善計画に基づき、採捕・供給事業の運用体制見直しや収支改善による経営の安定化に取り組んだこと、令和3年度のうなぎ稚魚単価が令和2年度に比べ高かったこと等から、経常収支の黒字化及び県借入金の圧縮を行うことができた。</p> <p>今後も体質強化を図るとともに、引き続き、資源の減少が危惧されているうなぎ資源の適正管理や水産動植物の保護等に資する役割を果たし、持続的な養鰻業の発展や内水面の振興に寄与していくことを期待する。</p>														
	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営	評価 (A. 良好、B. ほぼ良好、C. やや課題あり、D. 課題多い)	改革工程	活動内容	財務内容	組織運営											
		B	B	B	A		B	B	B	A											
	目標 達成度	<table border="1" style="display: none;"> <caption>目標達成度 (目標達成率)</caption> <thead> <tr> <th>指標</th> <th>達成率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標①</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>活動指標②</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>活動指標③</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>財務指標①</td> <td>180</td> </tr> <tr> <td>財務指標②</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>財務指標③</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>				指標	達成率 (%)	活動指標①	50	活動指標②	150	活動指標③	100	財務指標①	180	財務指標②	120	財務指標③	100	公社等改革 推進委員会 三次評価	<p>活動内容については、目標を下回っている指標があるものの、密漁排除のための河川監視等の取組において目標を達成しており、一定の評価ができる。</p> <p>財務内容については、シラスウナギの採捕量は減少したものの平均単価が昨年度と比べ上がったことから、経常収支が黒字化し、借入金の減少、正味財産の増加が見られ評価できる。</p> <p>国の法改正の動きを注視しつつ、引き続き、経営改善の強化を図り県内河川における秩序維持等の活動を効果的に実施するとともに、内水面における漁業等の振興と経営の安定を図ることが求められる。</p>
指標	達成率 (%)																				
活動指標①	50																				
活動指標②	150																				
活動指標③	100																				
財務指標①	180																				
財務指標②	120																				
財務指標③	100																				